

News Release

2019年5月23日
 NITE（ナイト）
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 製品安全センター（東京）

ガスこんろの火災に注意 ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方のガスこんろの事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2013年度から2018年度までの6年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したガスこんろの事故は67件^{※2}あり、うち「火災」となった事故は65件ありました。ガスこんろの事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2013年度	2	3	3	4		1		1			14
	(内数)火災事故	(2)	(3)	(3)	(4)		(1)		(1)			(14)
	2014年度	1	1	3	2	1	3	2		1	1	15
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(3)	(2)	(1)	(2)	(2)		(1)	(1)	(14)
	2015年度		1		2	1	6		1			11
	(内数)火災事故		(1)		(2)	(1)	(6)		(1)			(11)
	2016年度			3	1		2					6
	(内数)火災事故			(3)	(1)		(2)					(6)
	2017年度			1	3		1					5
	(内数)火災事故			(1)	(3)		(1)					(5)
2018年度	1	1		3	2	9					16	
(内数)火災事故	(1)	(1)		(3)	(2)	(8)					(15)	
合計	4	6	10	15	4	22	2	2	1	1	67	
(内数)火災事故	(4)	(6)	(10)	(15)	(4)	(20)	(2)	(2)	(1)	(1)	(65)	

表 2. 被害状況別事故発生件数^{※3}

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡	1	2				1				4	
		(内数)火災事故	(1)	(2)				(1)				(4)	
		重傷	1	1	1		2					5	
		(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)		(1)					(4)	
		軽傷	2	2	3	1	3	1	1			13	
		(内数)火災事故	(2)	(2)	(3)	(1)	(3)	(1)	(1)			(13)	
	物的被害	拡大被害	3	1	5	9	2	10		1	1	1	33
		(内数)火災事故	(3)	(1)	(5)	(9)	(2)	(9)		(1)	(1)	(1)	(32)
		製品破損	1	1		2	1	7					12
		(内数)火災事故	(1)	(1)		(2)	(1)	(7)					(12)
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		4	6	10	15	4	22	2	2	1	1	67	
(内数)火災事故		(4)	(6)	(10)	(15)	(4)	(20)	(2)	(2)	(1)	(1)	(65)	

※3 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	総計
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの										
		(内数)火災事故										
	B	製品および使い方に問題があったもの										
		(内数)火災事故										
	C	経年劣化によるもの										
		(内数)火災事故										
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの										
	(内数)火災事故											
	小計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	(内数)火災事故	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
製品に起因しない事故	D	施工、修理又は輸送などに問題があったもの										
		(内数)火災事故										
	E	誤使用や不注意によるもの										
		(内数)火災事故										
	F	その他製品に起因しないもの										
	(内数)火災事故											
	小計	1	3	8	9	2	10	2	1	1	1	38
	(内数)火災事故	(1)	(3)	(8)	(9)	(2)	(9)	(2)	(1)	(1)	(1)	(37)
その他	G	原因不明なもの										
		(内数)火災事故										
	H	調査中のもの										
		(内数)火災事故										
	小計	3	3	2	6	2	11	0	1	0	0	28
	(内数)火災事故	(3)	(3)	(2)	(6)	(2)	(10)	(0)	(1)	(0)	(0)	(27)
	合計	4	6	10	15	4	22	2	2	1	1	67
	(内数)火災事故	(4)	(6)	(10)	(15)	(4)	(20)	(2)	(2)	(1)	(1)	(65)

原因区分別事故発生件数（表 3）でみた場合、消費者の誤使用や不注意による事故（E 区分）が 28 件あります。これらの事故は、製品の取扱方法を正しく認識して使用することで未然に防ぐことができます。事故防止のための注意事項として別送 News Release（全国版）の「気を付けるポイント」をご参照ください。

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① こんろ周囲の可燃物に着火

・ 2013年8月、埼玉県、重傷

(事故内容)

ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

使用者がガスこんろの周囲に可燃物を置いた状態で調理したために、バーナーの火が可燃物に燃え移り、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない。」旨、記載されている。

② 着衣に着火

・ 2014年10月、東京都、重傷

(事故内容)

ガスこんろを使用中、やかんを移動した際、衣服に着火し、火傷を負った。

(事故原因)

ガスこんろの左側の強火力バーナーにやかんをのせて使用中に、やかんをガスこんろの左側にある流し台に移動した際に、こんろの炎が寝間着の上着の裾に着火し、事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「こんろ使用中に身体や衣服が炎に近づかないよう注意する。衣服に炎が移ってやけどの恐れがある。」旨、記載されている。

③ 使用中のガスこんろから離れたことによる火災

・ 2015年12月、千葉県、軽傷

(事故内容)

ガスこんろを使用中、建物2棟を全焼する火災が発生し、3名が軽傷を負った。

(事故原因)

事故直前、使用者はガスこんろの右こんろに油の入ったフライパンを置いて点火した後、家族に呼ばれたためガスこんろの前を離れて3～5分ほど話をしていところ、フライパンから火が上がっていることに気づいた。使用者が調理油過熱防止装置が付いていない右こんろで油調理中にその場を離れたために、油が過熱されて出火し、事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火を付けたままの移動、外出、就寝禁止。」の旨、警告表示されている。

2. ガスこんろの事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① 汚れたグリル庫内の調理物が過熱されて発火 (2. (2) 写真1)
- ② 着衣着火 (2. (2) 写真2)

(そのほか)

- ③ グリル消し忘れ (水なし)
- ④ グリル消し忘れ (水あり)
- ⑤ 天ぷら油の発火 (汚れた鍋)
- ⑥ 天ぷら油の発火 (きれいな鍋)
- ⑦ バーナーキャップが汚れて異常燃焼
- ⑧ 近くに置いた可燃物に着火
- ⑨ 誤った種類的气体を供給して異常燃焼

(2) 実験映像例

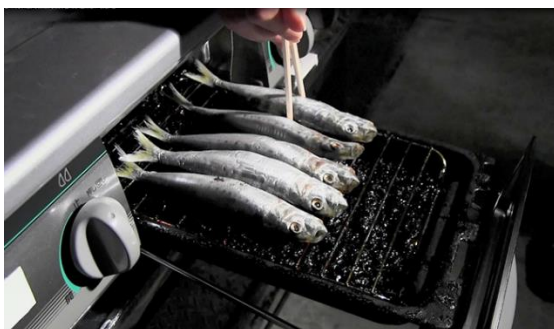


写真1. 汚れたグリル庫内の調理物が過熱されて発火



写真2. 着衣着火

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと），有山（ありやま），佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820